

目標達成のために何が必要なのか～「競技の力」から学ぶ～

五 霊 台

五霊中学校だより
平成三十年度第二号

平成30年7月20日
文責 米村

熊本市中体連大会等を を終え次に来るもの

平成三十年度の熊本市中体連大会と全日本中学校陸上大会の熊本県予選が六月から七月にかけて各会場にて開催されました。五霊中学校の各部生徒や、社会体育で活動している弓道・硬式テニス・水泳の競技に学校の代表として参加しました。陸上競技の中体連大会は、九月に開催が予定されています。代わって全国大会へつながる二つの大会に本校陸上部が参加しました。

猛暑の中、最後まで声援をお送り下さった保護者の皆様には感謝申し上げます。各競技の結果は下記の表を参考にして下さい。
選手たちは、日ごろの練習の成果を最大限に発揮すべく、試合に臨みました。特に3年生にとって、最後の大会となる可能性があるだけに、本校の校是「再び帰らぬ時なれば このひと時に命燃やさん」を意識して競技しました。ただ、対戦相手もやる気は同じ。中体連という独特の緊張感につきまつき、普段見られないミスが出てしまった試合もありました。これらの課題として後輩が受け継いで



「会話しろ」「周囲を気にしろ」どれも、チームとしてのまとまり、一方向へ全員一丸となり動くことにつながるものでした。練習では、指導者がプレーを止めて指示を徹底しますが、試合中は時間が流れていきます。タイムアウトも回数に限られていたり、サッカーのように最初から設定されていない競技もあります。相手と戦いながら冷静に自分たちのプレーを実行するチーム力が選手一人ひとりに求められていることを痛感しました。チームワーク、組織力の重要性に改めて気づかされました。

この力を普段の学校生活で鍛える有効な場面を考えてみました。中学生に与えられている時間の中で最も多いものは授業です。教科の違いはありますが、毎時間、自分の頭で考えた意見を発表する。同級生の違う意見と対比し、更に適切な解へと高めていく。この作業は家庭学習では学べないものです。相手が何を考えてどう行動しようとしているか。それに対して自分がどう動けば道は開けるか。意識して、力を磨いていきましょう。
市大会を突破した選手諸君には、県・九州・全国が控えています。五霊中より応援を絶やしません。

平成30年度 熊本市中学校総合体育大会（中体連）等 試合 結果一覧

| 部・個人 | 試合日 | 結果 | 部・個人 | 試合日 | 結果 | 部・個人 | 試合日 | 結果 |
|----------------|-------------------------|--|-------|------------------------------|---|-------|----------------------|--|
| 野球 | 6月24日(日) | 五霊5-力合6 | 女子バレー | 6月23日(土) | 五霊0-西原2 | 柔道 | 6月22日(金) 6月23日(土) | 団体戦 ①五霊3-長嶺2 ②五霊0-鎮西5 個人戦 第2位(1人) ★県大会出場! |
| サッカー | 6月23日(土) | 五霊1-力合2 | 男子バスケ | 6月23日(土) | 第1試合 五霊57-清水52 第5試合 五霊53-白川81 | 弓道 | 6月23日(土) | 男子団体4位 女子団体4位 個人戦 男子2年生以下の部 第5位(1人) ★県大会出場! |
| ソフトテニス | 6月27日(水) 6月28日(木) | 団体戦 五霊0-力合3 | 女子バスケ | 6月23日(土) | 第1試合 五霊126-九学11 第5試合 五霊46-錦ヶ丘55 | 硬式テニス | 6月25日(月) | 個人戦 第7位 ★県大会出場! |
| 男子バレー | 6月24日(日) 6月25日(月) | 第1試合 五霊・鎮西2-西原0 第3試合 五霊・鎮西2-出水1 | 卓球 | 6月26日(火) 6月27日(水) | 個人戦 ベスト32 (男子2人) ベスト64 (男子1人) ベスト64 (女子2人) | 水泳 | 6月25日(月) | 50m背泳第2位、100m背泳第2位 ★県大会出場! |
| 陸上(中体連大会は9月予定) | 全日本中学校選手権県予選 6月9日(土) | 共通女子100メートル障害 14秒29 3年女子1位 ★県中学記録更新 ★標準記録突破で全国大会へ | | 全日本中学校通信陸上選手権県予選 7月14日(土) | 共通女子100メートル障害 14秒30 3年女子1位 ★予選では県中学記録更新14秒27 ★標準記録突破で全国大会へ 17秒14 3年女子7位 | | | |

裏面もご覧ください

六月三日火曜日、台風七号の接近により臨時休校の措置をとりました。動きの遅い台風が、当日の生徒下校時間帯に熊本県に最も接近。暴風雨に警戒が必要との天気予報と、自転車通学生等の遠距離通学者を特に考慮した判断によるものでした。校区内の小学校、植木町の小中学校合同で決断した次第です。これからも台風に対応する場合は複数回出てくるはず。今回の台風より規模や勢力が大きい台風であれば、熊本市教育委員会が一律に休校か否かの判断を決定します。

平成二十八年四月に発生した熊本地震より、熊本市や熊本県は地震に対する策に力を入れてきました。まだ復興の途上にもあります。しかし、今回の台風七号によりもたらされたその後の豪雨は平成史上最大の犠牲者を生む水害となりました。熊本県内は、梅雨前線の位置がずれたため、死者を出す被

は出ませんでした。前線の位置が南にずれ、停滞していたらと考えると、過去の大水害に匹敵する犠牲が出たはずです。

七月九日には九州北部の梅雨明けが発表され、その後は連日猛暑が続いています。十七日火曜日には、校外学習から学校へ帰校した小学一年生児童が熱中症で亡くなりました。十九日の熊本では、高校生が部活動の朝練習中に熱中症にかかり救急車で搬送。同日の高校野球会場では、応援の高校生二十二名が熱中症で救急車搬送というニュースが流されました。

本校では、保健だより「すこやか」に熱中症対策の記事を掲載。昨年度から普通教室にエアコンが設置されたことも大きい対策となっています。地球温暖化ゆえに、台風の大規模化や風水害の被害拡大が叫ばれています。確かに、この夏の暑さは、明らかに昭

和の時代には感じませんでした。学校は子どもの命を預かり守り育てるところです。「安全を最優先に学校経営を実践する」ことを改めて認識しました。

今後の防災情報、特に臨時休校など、緊急かつ重要な情報伝達に、五霊中学校ホームページも活用していきます。安心・安全メールの活用と合わせて運用する予定です。メールの登録が全家庭で完了すれば、緊急連絡網の必要性がなくなります。電話による緊急連絡網は、電話に出ようやく用件が理解できるし、次につながるものです。将来的には、電話連絡網を廃止する方向で検討していきます。保護者のご理解・ご協力をお願いします。するとともに、ホームページの日常的な活用も合わせてお願いします。

学校だより二号でも紹介した中体連結果等、学校生活における子どもたちの活躍を紹介しています。



夏の暑さにも負けない植物の生命力に学ぶ
夏が似合う花と言えば「ひまわり」拓霊館前のプランターに大輪の花を太陽に向かって咲かせています。熊本市北区の花に指定されているので、五霊中学校では生徒会の環境緑化委員会とわかば学級が中心となり、ひまわりの

栽培に取り組んでいます。チェルノブイリでの原発事故に対して、放射能で汚染された土壌の改善策としてひまわりが植えられたニュースを思い出します。また、「ローゼル」という植物の栽培にも取り組んでいます。この植物は、「ハイビスカステイ」と言

ハブテイの原料であることを、本校の緑化担当小松先生よりました。教えてください。



「植木学校」に学ぶ その②

植木学校の聖典としてルソーの「民約論」が使用されていたという記録は、前回紹介した「いかにこの植木学校が先進的であったか」を示す一つでしょう。中学校社会科の歴史をで登場する啓蒙思想家のなかに、ロック・ルソー・モンテスキューという三人がいたという記憶は大勢の読者が呼び起こせるのではないのでしょうか。中江兆民が「民約訳解」としてルソーの社会契約論を日本に紹介したのが明治十五年（一八八二年）植木学校の設立が明治八年四月ですから、ここにも植木学校における自由民権運動の先進性が高かったことが証明されています。

(次回に続く)